

平成31年 2月15日

一般社団法人鹿児島県LPガス協会会長 様

鹿児島県危機管理局  
消防保安課長



建設工事等におけるガスパイプ損傷事故の防止について（依頼）

このことについて、経済産業省産業保安グループガス安全室から別添のとおり通知がありました。

ついては、貴協会会員に対して、この通知の趣旨を踏まえた適切な対応をとるよう周知をお願いします。

(連絡先)

鹿児島県 危機管理局

消防保安課 保安係

担当：宮下

Te l : 099-286-2262



# 経済産業省

30産ガ安第9号  
平成31年2月6日

鹿児島県危機管理局消防保安課

経済産業省産業保安グループ ガス安全室

建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（事務連絡）

標記の件について、今般、当省では、ガス事故における建設工事等に係る事故（他工事事故）の防止に向け、別添のとおり厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長並びに同省医薬・生活衛生局水道課長及び国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長並びに同省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課長に対し、協力要請を行いましたので、その旨お知らせいたします。

貴部署におかれましては、必要に応じ、関係行政機関への連絡や関係団体等を通じた事業者への周知をお願いいたします。

## 経済産業省

30産ガ安第9号  
平成31年2月6日

厚生労働省医薬・生活衛生局  
水道課長 是澤 裕二 殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長 田村 厚雄

### 建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等（道路関係工事、土木・建築関係工事、上下水道関係工事等）に伴い、毎年ガス管を損傷するなどの事故が発生しており、平成25年から平成29年の5年間で616件、負傷者数39名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年約1割以上の割合で発生し、平成30年は速報値で140件発生しております。

最近の事故事例では、平成30年8月に、水道工事において、バックホウで誤って供給管を破損し、漏えいしたガスが付近で作業していた電動ブレーカーの火花に引火し、作業員2名と協力企業1名が軽傷を負った事故や、同年12月に、空き家解体作業中に小型ショベルカーでLPガス集中配管を破損し、供給を受けていた家庭への供給支障を発生させた事故がありました。

こうした建設工事等におけるガス管損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なくなく、その原因としては、①施工者がガス管の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガス管を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

つきましては、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の再発防止の観点から、建設工事等に係る事業者等に対し、以下の要請を行っていただきますようお願いいたします。

- ・工事前には、ガス事業者に、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者に立会を求めること。
- ・ガス事業者に照会して得られた情報は、現場の作業員全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
- ・ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- ・敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
- ・工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者に連絡すること。
- ・ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者に連絡すること。

(添付資料)

- ・参考資料1 平成29年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料2 平成30年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料3 建設工事等事業者向けパンフレット

[http://www.meti.go.jp/policy/safety\\_security/industrial\\_safety/sangyo/citygas/aikotoba-deminaoshitai/panel/pdf/koji\\_2016.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotoba-deminaoshitai/panel/pdf/koji_2016.pdf)

[http://www.meti.go.jp/policy/safety\\_security/industrial\\_safety/sangyo/citygas/aikotoba-deminaoshitai/panel/pdf/koji\\_check\\_2016.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotoba-deminaoshitai/panel/pdf/koji_check_2016.pdf)

(参考) 最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移(ガス事故(建設工事等))

ガス事故(建設工事等)件数	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	計
ガス事故件数	977	861	710	604	592	3,744
うち、都市ガス	767	674	532	468	407	2,848
液化石油ガス	210	187	179	139	185	896
建設工事等事故件数	90	109	136	133	148	616
うち、都市ガス	72	90	120	100	101	483
液化石油ガス	18	19	16	35	47	133
うち、事前照会無し	58	70	82	74	77	359
建設工事等事故による負傷者数	9	4	13	5	8	39

(経済産業省ガス安全室調べ)

## 経済産業省

30産ガ安第9号  
平成31年2月6日

厚生労働省労働基準局

安全衛生部安全課建設安全対策室長 佐々木 邦臣 殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長 田村 厚雄

### 建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等（道路関係工事、土木・建築関係工事、上下水道関係工事等）に伴い、毎年ガス管を損傷するなどの事故が発生しており、平成25年から平成29年の5年間で616件、負傷者数39名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年約1割以上の割合で発生し、平成30年は速報値で140件発生しております。

最近の事故事例では、平成30年8月に、水道工事において、バックホウで誤って供給管を破損し、漏えいしたガスが付近で作業していた電動ブレーカーの火花に引火し、作業員2名と協力企業1名が軽傷を負った事故や、同年12月に、空き家解体作業中に小型ショベルカーでLPガス集中配管を破損し、供給を受けていた家庭への供給支障を発生させた事故がありました。

こうした建設工事等におけるガス管損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なくなく、その原因としては、①施工者がガス管の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガス管を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

つきましては、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の再発防止の観点から、建設工事等に係る事業者等に対し、以下の要請を行っていただきますようお願いいたします。

- ・工事前には、ガス事業者に、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者に立会を求めること。
- ・ガス事業者に照会して得られた情報は、現場の作業員全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
- ・ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- ・敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
- ・工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者に連絡すること。
- ・ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者に連絡すること。

(添付資料)

- ・参考資料1 平成29年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料2 平成30年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料3 建設工事等事業者向けパンフレット

[http://www.meti.go.jp/policy/safety\\_security/industrial\\_safety/sangyo/citygas/aikotoba-deminaoshitai/panel/pdf/koji\\_2016.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotoba-deminaoshitai/panel/pdf/koji_2016.pdf)

[http://www.meti.go.jp/policy/safety\\_security/industrial\\_safety/sangyo/citygas/aikotoba-deminaoshitai/panel/pdf/koji\\_check\\_2016.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotoba-deminaoshitai/panel/pdf/koji_check_2016.pdf)

(参考) 最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移(ガス事故(建設工事等))

ガス事故(建設工事等)件数	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	計
ガス事故件数	977	861	710	604	592	3,744
うち、都市ガス	767	674	532	468	407	2,848
液化石油ガス	210	187	179	139	185	896
建設工事等事故件数	90	109	136	133	148	616
うち、都市ガス	72	90	120	100	101	483
液化石油ガス	18	19	16	35	47	133
うち、事前照会無し	58	70	82	74	77	359
建設工事等事故による負傷者数	9	4	13	5	8	39

(経済産業省ガス安全室調べ)

## 経済産業省

30産ガ安第9号  
平成31年2月6日

国土交通省土地・建設産業局  
建設市場整備課長 小笠原 憲一 殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長 田村 厚雄

### 建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等（道路関係工事、土木・建築関係工事、上下水道関係工事等）に伴い、毎年ガス管を損傷するなどの事故が発生しており、平成25年から平成29年の5年間で616件、負傷者数39名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年約1割以上の割合で発生し、平成30年は速報値で140件発生しております。

最近の事故事例では、平成30年8月に、水道工事において、バックホウで誤って供給管を破損し、漏えいしたガスが付近で作業していた電動ブレーカーの火花に引火し、作業員2名と協力企業1名が軽傷を負った事故や、同年12月に、空き家解体作業中に小型ショベルカーでLPガス集中配管を破損し、供給を受けていた家庭への供給支障を発生させた事故がありました。

こうした建設工事等におけるガス管損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なくなく、その原因としては、①施工者がガス管の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガス管を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

つきましては、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の再発防止の観点から、建設工事等に係る事業者等に対し、以下の要請を行っていただきますようお願いいたします。

- ・工事前には、ガス事業者に、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者に立会を求めること。
- ・ガス事業者に照会して得られた情報は、現場の作業員全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
- ・ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- ・敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
- ・工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者に連絡すること。
- ・ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者に連絡すること。

(添付資料)

- ・参考資料1 平成29年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料2 平成30年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料3 建設工事等事業者向けパンフレット

[http://www.meti.go.jp/policy/safety\\_security/industrial\\_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/panel/pdf/koji\\_2016.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/panel/pdf/koji_2016.pdf)

[http://www.meti.go.jp/policy/safety\\_security/industrial\\_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/panel/pdf/koji\\_check\\_2016.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/panel/pdf/koji_check_2016.pdf)

(参考) 最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移(ガス事故(建設工事等))

ガス事故(建設工事等)件数	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	計
ガス事故件数	977	861	710	604	592	3,744
うち、都市ガス	767	674	532	468	407	2,848
液化石油ガス	210	187	179	139	185	896
建設工事等事故件数	90	109	136	133	148	616
うち、都市ガス	72	90	120	100	101	483
液化石油ガス	18	19	16	35	47	133
うち、事前照会無し	58	70	82	74	77	359
建設工事等事故による負傷者数	9	4	13	5	8	39

(経済産業省ガス安全室調べ)



## 経済産業省

30産ガ安第9号  
平成31年2月6日

国土交通省水管理・国土保全局  
下水道部下水道事業課長 植松 龍二 殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長 田村 厚雄

### 建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について（協力依頼）

ガス事業者（都市ガス及び液化石油ガスの供給に係る事業者をいう。以下同じ。）以外の者が行う建設工事等（道路関係工事、土木・建築関係工事、上下水道関係工事等）に伴い、毎年ガス管を損傷するなどの事故が発生しており、平成25年から平成29年の5年間で616件、負傷者数39名に上っています。こうしたガス事業者以外の者によるガス事故が毎年約1割以上の割合で発生し、平成30年は速報値で140件発生しております。

最近の事故事例では、平成30年8月に、水道工事において、バックホウで誤って供給管を破損し、漏えいしたガスが付近で作業していた電動ブレーカーの火花に引火し、作業員2名と協力企業1名が軽傷を負った事故や、同年12月に、空き家解体作業中に小型ショベルカーでLPガス集中配管を破損し、供給を受けていた家庭への供給支障を発生させた事故がありました。

こうした建設工事等におけるガス管損傷事故は、ガス事業者以外の者による建設工事等において生じる場合が少なくなく、その原因としては、①施工者がガス管の存在を知らずに工事に着手してしまった、②目的の配管と誤ってガス管を切断してしまった、③ガス漏えいの処置を自ら行おうとし、誤って着火させてしまった、④ガス臭に気付いたがそのまま作業を続け、その後漏えいガスに着火してしまった、また、⑤ガス事業者へ事前照会を行っていたものの、確認した内容を現場作業員に伝えていなかったなど、事故の内容から判断し、明らかに施工者による確認ミス、作業ミス等が原因となり発生しているものが多数あります。

つきましては、このような建設工事等におけるガス管損傷事故の再発防止の観点から、建設工事等に係る事業者等に対し、以下の要請を行っていただきますようお願いいたします。

- ・工事前には、ガス事業者に、ガス管の有無、その配置及び使用状況について照会するとともに、必要に応じ、工事の際にガス事業者に立会を求めること。
- ・ガス事業者に照会して得られた情報は、現場の作業者全員に周知して適切な作業が行われるようにすること。
- ・ガス管が埋設されている付近は、火気や電動工具の使用を避け、特に慎重に手掘り等で作業すること。
- ・敷地内に引き込まれる埋設ガス管は、歩道部や車道部よりも浅い場所にあることが多いため、特に注意すること。
- ・工事の際、ガス管及びガス管かどうか判断できない埋設管を見つけたときは、ガス事業者に連絡すること。
- ・ガス臭いと感じた時は、火気や電動工具の使用を中止し、すぐにガス事業者に連絡すること。

(添付資料)

- ・参考資料1 平成29年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料2 平成30年の建設工事等におけるガス管損傷事故
- ・参考資料3 建設工事等事業者向けパンフレット

[http://www.meti.go.jp/policy/safety\\_security/industrial\\_safety/sangyo/citygas/aikotoba-deminaoshitai/panel/pdf/koji\\_2016.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotoba-deminaoshitai/panel/pdf/koji_2016.pdf)

[http://www.meti.go.jp/policy/safety\\_security/industrial\\_safety/sangyo/citygas/aikotoba-deminaoshitai/panel/pdf/koji\\_check\\_2016.pdf](http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/aikotoba-deminaoshitai/panel/pdf/koji_check_2016.pdf)

(参考) 最近の建設工事等によるガス管・ガス設備損傷事故件数の推移(ガス事故(建設工事等))

ガス事故(建設工事等)件数	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	計
ガス事故件数	977	861	710	604	592	3,744
うち、都市ガス	767	674	532	468	407	2,848
液化石油ガス	210	187	179	139	185	896
建設工事等事故件数	90	109	136	133	148	616
うち、都市ガス	72	90	120	100	101	483
液化石油ガス	18	19	16	35	47	133
うち、事前照会無し	58	70	82	74	77	359
建設工事等事故による負傷者数	9	4	13	5	8	39

(経済産業省ガス安全室調べ)

## 平成29年の建設工事等におけるガス管損傷事故

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1/6	長野	リフォーム工事	LPガス	0	リフォーム業者がコンクリート製2階共用廊下に水道管を通すため、穴を開けようとしたところ、埋設されていたLPガス供給管を損傷させ、ガスが漏えいした。
1/10	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホウで供給管継手部を破損し、ガスが漏えいした。
1/13	愛知	水道改修工事	都市ガス	0	他工事業者が、一般集合住宅建物内の消火栓管漏水修理をするために、コンクリートのコア抜き作業を実施していたところ、誤って灯外内管(PE管75mm)を損傷させた。
1/16	神奈川	水道改修工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事によると考えられる。
1/17	東京	解体工事	LPガス	0	解体工事業者が空家の解体作業中、誤って供給管を損傷させ、ガスが漏えいした。
1/18	東京	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(地質調査工事)によると考えられる。
1/18	福島	下水工事	都市ガス	1	他工事業者が共同溝事業に際して、下水道の公共柵(引込)の縮小工事(国道の歩道部)中に下水道作業員が供給管付近を掘削していたところ、コンクリートの塊があったため、掘削作業員が電動ピックにて官民境界付近の研りを開始したとき、灯外内管より漏洩していたガスに引火して掘削作業員1名が火傷を負ったもの。 尚、電動ピックによるガス管への損傷は無し。
1/19	東京	解体工事	都市ガス	0	通行人よりガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管から漏えいしていた。原因は他工事(解体工事)によると考えられる。

1/19	北海道	建物建築 工事	都市ガス	0	他工事業者から杭打ち工事をしていたらガス臭がするとの通報があり、出勤したところ、敷地内で150mm灯外内管(無装置管)からのガス漏れを確認。漏えい箇所を掘削し、確認したところオーガーにより灯外内管のプラグを損傷し、工事のために開けた孔が開いていることを確認した。
1/26	千葉	設備工事	LPガス	1	設備工事業者が廃止されたポンペ庫の配管を電動工具で切断したところ、配管にガスが入っていたため、切断の際に生じた火花に引火して、作業員1名が負傷した。
1/26	京都	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がセーバーソーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
1/27	鹿児島	水道工事	都市ガス	0	道路工事業者が、本管のバイパスサドルの突起部分を重機で損傷させたため、ガス漏えいが発生した。
1/28	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
1/30	千葉	外構工事	LPガス	0	外構工事業者が掘削作業中に誤って埋設配管を損傷させ、ガスが漏えいした。
2/1	神奈川	道路舗 装・改修 工事	LPガス(簡易)	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出勤したところ、本支管端部のキャップが損傷していたため特定製造所内のバルブを閉止し供給支障となった。原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
2/1	神奈川	下水工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出勤したところ、本支管が損傷していた。原因は他工事(下水道工事)によると考えられる。

2/3	福岡	解体工事	都市ガス	0	解体業者が建物解体中、サンダーにて灯外内管(白ガス管、口径25mm)を損傷し、漏出したガスに着火したことにより火災に至った。
2/9	東京	基礎工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。原因は他工事(建築工事)によると考えられる。
2/10	長野	下水道工事	LPガス	0	下水工事業者が屋外トイレ新設のため、ロードカッターを用いて作業をしていたところ、誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
2/12	山形	不明	LPガス	0	他工事業者が集団供給の供給管を誤ってバーナーで切断し、ガスが漏えいしバーナーの炎が着火源となり火災となった。
2/13	山口	下水道工事	LPガス	0	集合住宅において、下水道工事のため重機で掘削したところ、誤って埋設配管を損傷させ、ガスが漏えいした。
2/13	大阪	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がバックホーで支管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
2/14	宮城	解体工事	都市ガス	0	所有者よりガス漏れの通報を受け、灯外内管破損箇所からの漏洩を確認した。原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
2/18	大阪	解体工事	都市ガス	1	他工事業者(解体工事業者)が敷地内へ重機車両を搬入した際、埋設された灯外内管の上部を通過した時に、重機車両の加重によりガス管継手部を破損し、漏えいしたガスに、電動ハンマーの作業で発生した火花が着火したものと推定される。

2/20	福島	下水道工事	LPガス	0	下水道工事業者が誤って市道に埋設された戸建集合住宅への供給管を損傷させ、ガスが漏えいした。
2/20	神奈川	基礎工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。原因は他工事によると考えられる。
2/23	北海道	解体工事	都市ガス	0	通行人から警察に通報があり、警察から入電を受けた消防より「解体中の現場からガス臭及び噴出音有り」との入電を受け出動。消防による粘土詰めによるガス噴出停止措置を確認後、歩道を掘削し、供給管(PE)をスクイズオフ後、切断し、キャップ止めにより措置をした。
2/24	京都	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
3/2	大阪	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者(下水道工事業者)がカッターで供給管(ポリエチレンライニング鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
3/6	三重	水道工事	LPガス	0	水道事業者が漏水箇所特定の作業中誤って埋設配管を損傷し、ガスが漏えいした。
3/6	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
3/6	東京	その他他工事	都市ガス	0	東京消防庁からガスが出ているとの通報があり出動したところ、灯内内管が損傷していた。原因は他工事(シロアリ駆除工事)によると考えられる。

3/7	兵庫	解体工事	LPガス	0	解体工事業者が空き地で解体整地作業を行っていたところ、誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
3/7	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
3/8	埼玉	解体工事	都市ガス	0	団地解体に伴う団地内道路掘削時、ガス管をキズつけたとの通報受付。現地調査の結果、他工事により本支管を損傷されたことでマイコンメーターが作動し、近隣団地1棟37戸の供給支障が発生。
3/15	東京	解体工事	都市ガス	0	他工事業者よりビル解体中にガス管を損傷して着火したとの通報。ビル解体中建設機械にて灯外内管を損傷し着火したもの。
3/23	大阪	基礎工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がコアドリルで灯内内管(ポリエチレン管)を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺住民(18名)の避難が実施された。
3/24	奈良	リフォーム工事	LPガス	0	リフォーム業者が無断で自動切替式の供給が行われている設備の供給側容器を外したため消費者のガス使用により高圧ホースからガスが漏えいした。
3/27	福岡	解体工事	都市ガス	0	戸建ての建物解体工事において、建物解体業者が基礎コンクリート撤去作業中に基礎コンクリート中の灯外内管を損傷し、併せて同位置付近に埋設の給水管を損傷。水道水がガス管に流入して下流側のマンション(31戸)に供給支障が発生。
3/30	東京	解体工事	都市ガス	0	消防からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管から漏えい。原因は他工事(解体工事)によると考えられる。外面修理テープ止め措置済み。3月30日19時14分復旧済み(支管上元プラグ止め)。

4/3	東京	外構工事	LPガス	0	一般住宅において、消費者よりガスが出ない旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、埋設供給管が損傷していることを確認した。原因は、外構工事業者が掘削作業中に埋設供給管を損傷したことによるもの。
4/4	愛知	駐車場等工事	都市ガス	1	駐車場の工事中に、内管他工事業者が灯外内管をサンダーで切断し、漏えいしたガスに着火し作業員1名が火傷をしたもの。この際に、ポストのダイヤル部及び雨どいの一部を焼損。
4/8	山形	解体工事	LPガス	0	解体業者が車庫解体のため、コンクリート舗装を破砕した際に、誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
4/8	新潟	電柱設置工事	LPガス(簡易)	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(電柱工事)によると考えられる。
4/10	奈良	下水道工事	LPガス	1	下水道工事業者が作業中に誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいし、何らかの着火源により火災が発生し、作業員1名が負傷した。
4/10	東京	下水改修工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事によると考えられるとのこと。
4/12	鳥取	水道工事	LPガス	0	水道局による水道管漏えい修理工事の為、土間コンクリートはつり工事中に埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
4/25	埼玉	解体工事	LPガス	0	解体工事業者が誤って埋設された供給管を損傷させ、ガスが漏えいした。



5/5	東京	その他 (需要家)	都市ガス	0	消防署からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯内内管が損傷していた。原因は需要家が誤って枝きりばさみで損傷したものの。
5/8	静岡	外構工事	LPガス	0	外構工事業者が駐車場造成工事の際に、重機で地面を掘り起こしたことにより、埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
5/12	広島	水道工事	LPガス	0	水道工事業者が既設コンクリート解体の際に誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
5/15	鳥取	解体工事	LPガス	0	解体工事業者が基礎部分を切断中、誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
5/16	大阪	建物建築 工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がオーガーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
5/17	東京	水道工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
5/18	山梨	下水道工 事	LPガス	0	下水道工事業者がコンクリートはつり工事中に埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
5/27	東京	下水道工 事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水道工事)によると考えられる。

5/29	大阪	建物建築 工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
6/4	神奈川	その他 (需要家)	都市ガス	0	消防からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯内内管が損傷していた。需要家によると原因は(DIY)によると考えられる。
6/5	鳥取	外構工事	LPガス	0	外構工事業者が誤って重機で埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
6/9	沖縄	水道改修 工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者(水道事業者)がサンダーで誤って灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
6/10	岡山	水道工事	LPガス	0	下水道工事業者が配管を損傷させ、ガスが漏えいした。
6/10	神奈川	外構・門 扉工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(外構工事)によると考えられる。
6/12	静岡	水道工事	都市ガス	1	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷し、工事業者作業員1名が顔に軽度の火傷を負っていた。工事業者によると原因は他工事(水道工事)による考えられる。
6/14	鳥取	リフォーム 工事	LPガス	0	リフォーム業者が給水管とガス管を間違えてセーバーソーで切断し、ガスが漏えいした。

6/16	岡山	下水工事	LPガス	0	下水道工事業者が誤って重機で埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
6/19	岡山	下水道工事	LPガス	0	下水道工事業者が誤ってコンクリートカッターで埋設配管を損傷させ、ガスが漏えいした。
6/19	神奈川	解体工事	都市ガス	0	横浜消防からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管から漏えいしていた。原因は不明(調査中)。
6/22	兵庫	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者(道路工事業者)がカッターで支管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
6/27	東京	建物改修・改装工事	都市ガス	0	東京消防からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(改修工事)によると思われる。
6/29	岐阜	水道改修工事	都市ガス	0	一般住宅の敷地内において、井戸配管の撤去工事中に、施工業者が間違えて配管を切断し着火。マイコンメーターが遮断して消火。給湯器用電気コンセント及び電気コードの一部を焼損。
7/1	大阪	その他改修工事	都市ガス	0	他工事業者(電気工事業者)がエアータンパーで支管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
7/1	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(整地工事)によると思われる。

7/4	神奈川	解体工事	都市ガス	0	消防からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
7/7	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
7/8	千葉	その他 (需要家)	都市ガス	0	消防からガス漏えいによる火災との通報があり出動したところ、灯外内管から漏えいしていた。原因はバーナーで除草作業中に不使用管(PE)からの漏えいガスに着火したものと考えられる。
7/13	沖縄	建物改修・改装工事	LPガス	0	屋根の補修業者が溶接作業を行っていた際、火花が容器周辺に降りかかり高圧ホースが損傷してガスが漏えいし、溶接火花に引火した。
7/15	埼玉	解体工事	LPガス	0	解体業者が住宅解体中に誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
7/19	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民の避難が実施された。
7/19	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(整地工事)によると考えられる。
7/19	奈良	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。

7/20	大阪	外構工事	LPガス	0	外構工事業者が、ガス管が使用されていないと思いこみ、埋設管立ち上がり部をサンダーで切断したところ、ガスが漏えいし、サンダーの火花に着火した。
7/20	神奈川	水道改修工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
7/21	京都	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がバックホーで供給管継手部を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
7/21	大阪	水道工事	都市ガス	2	他工事業者(水道工事業者)がバックホーで供給管を破損し、漏えいしたガスに、電動プレーカーの作業で発生した火花が着火したものと推定される。作業員2名が軽度の火傷を負った。
7/24	神奈川	水道工事	LPガス	0	水道工事業者が誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
7/28	東京	水道工事	都市ガス	0	マンション管理人からガス臭いとの通報があり出動したところ、本支管から漏えいしていた。原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
8/1	滋賀	解体工事	LPガス(簡易)	0	解体工事業者がバックホウにて家屋の解体作業中に灯外内管を折損、LPガスが漏えいした。
8/2	群馬	集合住宅管理会社	LPガス	0	集合住宅の管理会社が草刈り機により露出配管を損傷させ、ガスが漏えいした。

8/2	埼玉	水道工事	LPガス	0	水道工事業者が水道配管工事中に誤って埋設管を切断し、ガスが漏えいした。
8/9	神奈川	外構・門扉工事	都市ガス	0	横浜消防からガス管損傷との通報があり出動したところ、灯外内管・灯内内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(外装工事)によると考えられる。
8/11	大阪	下水改修工事	都市ガス	0	他工事業者(衛生設備工事業者)がコアドリルで灯内内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
8/17	福岡	駐車場等工事	都市ガス	0	工事業者がマンション敷地内の駐車場整備工事に伴い、マンション1階店舗前のタイル部分を舗装カッターにより切断作業中に土中に埋設された灯外内管を損傷した。
8/23	埼玉	建設工事	LPガス	0	建設工事業者が誤って重機で埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
8/23	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管(アスファルトジュート巻き鋼管)を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
8/24	福島	下水道工事	LPガス	0	下水道工事業者が誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
8/25	茨城	下水道工事	LPガス	0	下水道工事業者が誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。

8/27	東京	水道改修 工事	都市ガス	0	東京消防庁からガス管損傷・ガス噴出との通報があり出動したところ、灯内内管が損傷していた。原因は他工事(水道工事)によると考えられる。
8/30	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷し火が出たとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷し、壁及び屋根の一部が焼損していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)による考えられる。
8/31	島根	その他 (清掃業)	LPガス	0	清掃業者が貯水槽の清掃中、梯子から足を踏み外してバルク容器の調整器を損傷させたためガスが漏えいした。
9/1	大阪	建物改修・改装 工事	都市ガス	0	他工事業者(改築工事業者)がコンクリートカッターで灯内内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
9/11	埼玉	解体工事	LPガス	0	解体工事業者が宅地内解体工事の際、誤って露出配管を損傷させ、ガスが漏えいし、何らかの火に着火した。
9/11	大阪	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がバックホーで支管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
9/13	鳥取	水道工事	LPガス	0	市道において、下水工事業者が掘削を行っていたところ、埋設配管を損傷し、ガスが漏えいした。原因は、販売事業者が事前に提供した図面と実際の敷設箇所が一部異なっており、かつ埋設表示シートもなかったことから、下水道工事業者が重機(バックホー)により掘削を行い、埋設ポリエチレン管を損傷させたため、ガスが漏えいしたもの。
9/14	神奈川	水道工事	LPガス	0	水道工事業者が誤ってフレキ配管を損傷させ、ガスが漏えいした。

9/17	徳島	解体工事	都市ガス	0	建物解体作業中にガス管をガスバーナーで切断した際に、ガスが漏えい着火。
9/19	大阪	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)がニブラーで灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいした。
9/22	東京	土木工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事によると考えられる。
9/26	静岡	解体工事	LPガス	0	解体工事業者が誤って埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
9/26	京都	電柱設置工事	都市ガス	0	他工事業者(電柱設置業者)がオーガーで支管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制及び周辺住民の避難が実施された。
10/5	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が圧砕機で灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
10/6	埼玉	外構・門扉工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(外構工事)によると考えられる。
10/10	千葉	水道改修工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(水道工事)によると考えられる。



10/12	大阪	下水改修 工事	都市ガス	0	他工事業者(衛生工事業者)がカッターで灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
10/13	東京	建物建築 工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(建築工事)によると考えられる。
10/13	大阪	解体工事	都市ガス	0	自動車が水路に落下したことにより、水路内に配管されていた供給管が破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
10/25	兵庫	電柱設置 工事	都市ガス	0	他工事業者(電柱設置業者)がオーガーで供給管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。
10/26	福岡	解体工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者(解体工事業者)が重機により、閉栓しているガスメータ部分を除去したことで灯外内管が損壊し、ガスが漏えいしたため、供給を停止。事故発生から約2時間後に開栓した。
10/26	北海道	電柱設置 工事	都市ガス	0	他工事業者から建柱工事中にガス管を損傷したとの通報があり、出動したところ、低圧支管からのガス漏れを確認。近隣に保育所もあることから、付近住民の避難誘導を実施するとともに消防へ出動要請し、周辺道路の交通規制を実施。また、並行して当該低圧支管損傷部の応急措置によるガス漏えい停止後、消防にて避難及び交通規制解除を実施。
10/27	群馬	太陽光設 備工事	LPガス	0	共同住宅において、バルク貯槽への充てんを行う充てん事業者が、ガスメータの表示によりガス漏えいを覚知し、埋設供給管(PE管)が破断していることを確認した。原因は、当該集合住宅が太陽光発電設備を設置し、アース棒を地面に指した際に、誤って埋設されていた供給管を損傷しガスが漏えいしたものと推測される。なお、破断箇所に覆土されていた土は最近掘り起こした形跡があり、供給管には鋭い棒が当たった形跡があることから、損傷した際に当事者が土を掘り起こして状況を確認したものと推測される。
10/31	大阪	外構・門 扉工事	都市ガス	0	他工事業者(設備工事業者)がオーガーで灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺道路の交通規制が実施された。

11/6	大阪	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)が手で灯外内管を破損し、ガスが漏えいしたため、周辺住民の避難が実施された。
11/7	愛知	外構・門扉工事	都市ガス	0	外構工事中に内管他工事業者が電動ブレーカーにてコンクリートはつり作業中に灯外内管を誤って損傷。漏えいしたガスに着火し、ガスメーター及び外構の一部を焼損。
11/7	鹿児島	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体業者)が、重機により解体作業を行っていたところ、解体現場隣地の灯外内管が導管図の記載と異なる場所に埋設されていたため、重機の車両加重により灯外内管を損傷した。
11/8	東京	基礎工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事によると考えられる。
11/8	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷した疑いがあるとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(整地工事)によると考えられる。
11/9	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	近隣住民からガス臭いとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
11/11	埼玉	基礎工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(建築工事)によると考えられる。
11/13	群馬	電気工事	LPガス	0	送電線工事業者が、誤って集合共有の埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。

11/15	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷した疑いがあるとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
11/17	石川県	土木工事	LPガス	0	土木工事業者が宅地整地中、誤って重機で埋設管を損傷させ、ガスが漏えいした。
11/17	東京	電気工事	都市ガス	0	団地管理事務所からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管から漏えいしていたため、引込み管ガス遮断装置を閉止し供給支障が発生した。原因は他工事(電気工事)によると考えられる。
11/18	東京	整地・造成工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷した疑いがあるとの通報があり出動したところ、供給管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(整地工事)によると考えられる。
11/25	愛知	水道工事	都市ガス	0	屋間に水道工事後の舗装工事のためのカッター作業を施工した際に、白管(供給管 32mm)を損傷した。夜間になりガス臭がすると消防から通報があり、ガス会社で噴出を停止した。
11/29	埼玉	水道工事	LPガス	0	水道事業者が漏水箇所を探すため、ドリルで打ち込んでいたところ誤って配管を損傷させ、ガスが漏えいした。
12/8	岡山	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者より供給管を損傷したとの通報を受け、販売事業者が現場に出動したところ、供給管(白管)が損傷していることを確認した。原因は、解体工事業者が家屋の解体工事を行っていた際、基礎立上り部の供給管にガスが流れていることを認識せずに損傷させたため、ガスが漏えいしたもの。なお、解体工事業者は、販売事業者の連絡先が不明であったことから、事前に工事の連絡をしておらず、ガス管の有無等の現場の確認が不十分であった。また、当該一般住宅は閉栓中であったが、集中ガス供給団地内であったため、供給管にはガスが流れている状態であった。
12/11	東京	外構・門扉工事	都市ガス	0	東京消防庁からガス管損傷との通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。原因は他工事(外構工事)によると考えられる。

12/12	北海道	水道工事	LPガス(簡易)	0	調整器室の遠隔監視装置の圧力低下警報が発報し、事業者が出動した。水道管撤去工事を受注した建設会社の誤認により水道及びガス管の撤去指示を受けた解体業者が供給管を引き抜こうとしたところ継手部からガスが噴出した。
12/14	神奈川	解体工事	都市ガス	0	他工事業者が電動ピックにてコンクリートはつり中に灯内内管の損傷し着火。灯内内管被覆のみ焼損した。
12/16	福岡	駐車場等工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者(土建業者)が、供給中の本支管の近くで側溝の埋設工事を行っていたところ、本支管(PE管)を損傷し、ガスが漏えいしたため供給を停止した。
12/19	兵庫	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいした。
12/20	大阪	衛生工事	都市ガス	0	他工事業者(衛生工事業者)がカッターで灯外内管を破損し、ガスが漏えい・着火した。
12/21	兵庫	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がガスバーナーで灯外内管を破損し、ガスが漏えい・着火した。
12/22	埼玉	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。 原因は解体工事中に建設機械で灯外内管を損傷したものの。
12/23	千葉	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者より、埋設供給管を損傷したとの連絡を受け、販売事業者が現場に出動したところ、埋設供給管継手部の損傷及び水道工事業者による容器バルブの閉止を確認した。原因は、水道工事業者が漏水工事の為、地盤面下を電動工具により掘削していたところ、埋設されていた供給管継手部を損傷しガスが漏えいしたものの。なお、水道工事業者は、販売事業者に対して、事前に工事の連絡をしておらず、ガス管の有無等の現場の確認が不十分であった。

12/25	岩手	改装工事	LPガス	0	共同住宅において、改装事業者が組んだ足場が倒れ、ガスが漏えいしていると住人より通報を受けた不動産業者から連絡を受け、販売事業者が現場に出動したところ、容器が転倒し、ガスが漏えいしていることを確認した。原因は、改装事業者が改装作業の為に組んでいた足場が強風により倒れ容器に接触したことにより容器が転倒し、高圧ホースが外れガスが漏えいしたもの。なお、容器には転倒防止のための鎖掛けが1本施されていたが、足場接触時の衝撃により切断したとのこと。
12/26	大阪	建物建築工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)が矢板打設時に矢板で灯外内管を破損し、同時に水道管も破損したため、ガス管に水道水が流入し、圧力低下によりマイコンメーターが遮断し、供給支障が発生した。
12/27	神奈川	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。原因は他工事によるもの。
12/31	奈良	水道工事	LPガス	0	集合住宅住人からガス臭の通報があり、屋外埋設配管が損傷していることを確認した。2日前に水道工事が行われており、関連を調査中。



## 平成30年の建設工事等におけるガス管損傷事故

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1/21	愛知	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者が敷地内工事(掘削機による整地工事)中に、灯外内管(32mm)を損傷しガスが噴出した。当該他工事業者はガス管を損傷したことを認知せず当日作業を終えたため、夕方通行人よりガス臭があると消防に通報し、消防から通報を受けた。他工事業者と事前の工事立会を行ったが、損傷した灯外内管が管理図面に記載がなく、ガス管があることの指示ができなかった。
1/23	兵庫県	土木工事	LPガス	0	新規造成地の排水工事において、立ち会った販売事業者がガス臭に気づき、検知器によりガス漏えいを確認した。原因は、土木事業者が立会の担当者が到着前に施工を開始し、道路下に埋設している引込供給管が損傷したことによるもの。なお、土木事業者は本管の位置と深さについては考慮していたが、引込供給管については考慮していなかった。
1/26	広島	下水工事	都市ガス	0	下水道工事業者から「道路上にて下水道工事中に中圧導管を破損し、ガス臭がする」との通報を受け、出勤したところ、中圧本管(300mm)からのガス漏えいを確認した。原因は、下水道工事業者が事前協議外の場所でボーリングを実施し、中圧導管を破損したことによるもの。ガス事業者と下水道工事業者は、昨年数回、協議を行っていたが、事故当日分の工事に関しては連絡がなかった。
1/31	大阪	基礎工事	都市ガス	0	建築工事業者から「新築工事時にバックホウにてガス管を破損」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(25mm:不使用管)が破損されていた。建築業者からガス事業者への事前照会無し。
2/6	北海道	排雪業者	LPガス	0	一般住宅において、消費者からガス警報器が作動しているとの連絡を受け現場に出勤した消防と、隣人の連絡により現場に出勤した販売事業者が、メーター付近の除雪を行ったところ、ガスメーターの供給管継手部に亀裂があることを確認した。原因は、事故発生1週間前に当該宅の屋根の雪下ろし作業を行った排雪業者が、容器やガスメーター付近一帯を雪で埋めてしまい、その荷重により供給管継手部が損傷したことによるもの。なお、販売事業者によると、3週間ほど前の検針時には、当該設備付近は雪に埋まっていなかったとのこと。
2/13	鳥取県	土木工事	LPガス	2	団地内道路において、下水工事をしていた土木事業者が重機で道路を掘削中にガスが漏えいした。土木事業者より連絡を受けた販売事業者1名が現場へ出勤し、漏えいを止めようと掘削穴に進入し、酸素欠乏状態となり意識を失った。また、救出しようと掘削穴に進入した土木事業者3名のうち1名も同じく酸素欠乏状態となり倒れ、両名とも転倒により軽傷を負った。原因は、事前協議において、下水工事を行う際、販売事業者の立ち会いを要請することとしていたが、事故発生当日は立ち会いを要請せずに工事を行っていたことによるもの。なお、対応依頼を受けた販売事業者は、十分な装備がないまま対応を試みたため、二次被害が発生した。
2/14	佐賀県	土木工事	LPガス	0	共同住宅において、敷地内の下水管入れ替え工事に伴う地盤掘削作業時に、ガス漏えいが発生した。原因は、掘削用の重機が埋設されていた供給管に接触したことにより、供給管継手部が損傷したことによるもの。なお、土木事業者による販売事業者への事前連絡、埋設箇所の確認は行われていなかった。



発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
2/20	佐賀県	外構工事	LPガス	0	共同住宅において、他工事業者が埋設された供給管からのガス漏えいを確認した。 原因は、他工事業者が外構をはつり機で改築する際に、埋設された管を損傷したことによるもの。 なお、他工事業者は、販売事業者に対し、事前に工事の連絡をしておらず、埋設箇所の確認は行われていなかった。
2/22	東京	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、低圧本管(300mm)からのガス漏えいを確認した。 当該工事に係るガス事業者への事前照会が無く、カッターによる舗装の切断を行ったため、低圧本管を損傷したものの。
2/22	大阪	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工事業者から「道路標識工事中にガス管を破損し、臭気と噴出音あり」との通報を受け、出勤したところ、供給管(25mm)を破損し、ガス漏えいを確認した。 原因は、歩道を掘削機(アイオン)にて掘削中に操作ミスし、供給管の継手部を破損したものの。
2/25	栃木	造園工事	LPガス(簡易)	0	需要家から「ガス管を損傷した」との連絡を受け、出勤したところ、灯外内管(20mm)からガスが漏えいしていた。損傷箇所がコンクリート下で、即座に補修ができない為、特定製造所メインバルブを閉止してガス供給を停止した。同時に、各戸メーターガス栓を閉止した。 原因は、需要家及び造園工事業者が、敷地内にガス管が無いと思い込んでいたため、ガス管の確認をしないで、コンクリート部分をコンクリートカッターで切断していたところ、ガス管を損傷したものの。
3/1	埼玉県	外構工事	LPガス	0	共同住宅において、外構工事業者からコンクリートカッターにより埋設供給管を損傷したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し、バルク貯槽の元栓を閉めた後、埋設ポリエチレン管上部が損傷していることを確認した。 原因は、作業に使用していたコンクリートカッターが埋設供給管に接触し、損傷させたことによるもの。 なお、使用されたコンクリートカッターは火花が出ないタイプであったため、引火には至らなかったと推測される。
3/3	北海道	改装工事	LPガス	0	社員寮において、改装工事業者から配管を損傷した旨の連絡を受けた販売事業者が、容器バルブを全て閉栓するよう工事業者に依頼し、現場に出勤したところ損傷部周辺でのガス漏えいを確認した。その後、工事業者に対し作業の停止を依頼し、防食テープで損傷部をふさぎ、翌日に床下点検口へ排風機を接続し、送風や吸引を行った後、配管の修繕作業を行った。 原因は、改装工事業者がコンクリートの床に排水配管用の穴を空ける作業中に誤って床下の配管を損傷したことによるもの。
3/4	福岡	除草作業等	都市ガス	0	消防から「需要家が樹木の根を伐採中に電動ノコギリでガス管を切断した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(30mm)が破損し、ガス漏えいを確認した。 原因は、当該需要家が敷地内のガス管位置を確認することなく、樹木の伐採を行なったため、当社への事前照会は無し。
3/6	大阪	解体工事	都市ガス	0	消防から「家屋解体工事現場で臭気」との通報を受け、出勤したところ、不使用の灯外内管(32mm)の破損箇所を確認した。 解体工事時、掘削機(バックホウ)で灯外内管の中央部を引き抜く等により、継手部の破損に至ったことでガス漏れが発生したと推定される。 不使用管につき切断プラグ止めにて、復旧完了。



発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
3/6	山形	整地・造成工事	LPガス (簡易)	0	他工事業者が宅地造成現場にて重機により灯外内管(20mm)部分を掘削し、その際、灯外内管を折損したが、業者の誰もガス管折損によるガス漏洩には気づかず、折損箇所を埋め戻しを行った。 ガス漏洩により、特定製造所のガス切れとなり供給支障に至った。
3/14	新潟県	路盤改修工事	LPガス	0	共同住宅において、路盤改修工事業者から、作業中に埋設供給管を傷つけ、ガスが漏えいしている旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、漏えいを確認した。 原因は、路盤改修工事業者の作業ミスにより埋設供給管が損傷したことによるもの。
3/15	山形県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、管理会社よりガス配管撤去のため依頼を受けた販売事業者が現場へ到着したところ、すでに解体業者が工事を開始しており、供給管が折損し、ガスが漏えいしていたため、直ちに容器のバルブを閉栓した。 原因は、解体業者が作業中に重機を埋設供給管に接触させ、継手部に負荷がかかり折損したことによるもの。 なお、解体業者から埋設管の有無に関する照会は行われていなかった。
3/16	静岡県	改装工事	LPガス	0	一般住宅において、検針員より圧力式微小漏えい警告(BR)が表示されている旨の連絡を受けた販売事業者が、翌日現場へ出動し、露出部の漏えい検査を行った。しかし、漏えい箇所を特定できなかったため、床下の金属フレキシブルホースを切り離し、漏えい試験を行ったところ、漏えいが確認されなかったことから、漏えい箇所を床下配管と特定した。その後、改装工事業者へ依頼し、床下配管を確認したところ金属フレキシブルホースに釘打ちによるものと思われる小さな穴を確認した。 原因は、改装工事業者による床板施工の際の釘打ちにより金属フレキシブルホースが損傷したものと推定される。
3/23	山口県	住宅工事	LPガス	0	団地内の一般住宅において、住宅工事業者が敷地内の駐車場拡張のため、重機による掘削作業を行っていたところ、ガスが漏えいした。 原因は、住宅工事業者が敷地内の埋設管の存在を確認せず、作業を行い、埋設供給管を損傷させたことによるもの。 なお、工事前に販売事業者への事前連絡は行われていなかった。 また、損傷したガス管を使用していた当該住宅は、事故発生時空き家であり閉栓中であった。
3/26	山口県	土木工事	LPガス	0	共同住宅において、複数の入居者よりガスが使用できないとの連絡を受けた販売事業者が現場に出動したところ、土木工事業者により埋設供給管が切断されガスが漏えいしていることを確認した。 原因は、工事に立ち会っていた都市ガス事業者が、当該供給管が都市ガスからLPガスへの切り替え時にそのまま転用されていることを認識しておらず、使用されていないガス管と考え切断したことによるもの。
4/2	茨城県	外構工事	LPガス	0	共同住宅において、外構工事業者から、誤って埋設供給管を引っ張った旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、埋設された本管(供給管)と引き込み管へ取り出すためのねじ込み継手(サービスチー)のねじ込み部からの漏えいを確認した。 原因は、外構工事業者が駐車場増設の為に敷地内の土を平らにするためのすきとり作業を行ったところ、小型のパワーショベルカーで埋設供給管を損傷したことによるもの。 なお、ねじ込み継手(サービスチー)の埋設部分の表示杭が抜かれていたため、外構工事業者が埋設供給管があることを確認できなかったとのこと。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
4/5	島根	リフォーム工事	都市ガス	1	他工事業者(リフォーム工事業者)の作業員が、灯外内管(25mm)にガスが供給されていないと思い込み、灯外内管のメーター立て管をグラインダーで切断した。その際、ガスが漏洩していたが、漏洩に気付かずに、そばにある灯内内管のメーター立て管をグラインダーで切断したため、その火花が漏洩したガスに引火した。 リフォーム工事の作業員は、消火しようとした時に顔に軽い火傷を負った。 他工事業者(リフォーム工事業者)からガス事業者への事前照会は無し。
4/11	新潟	その他(消雪パイプ打替工事)	都市ガス	0	他工事業者から「消雪パイプ打替工事中にガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、道路に埋設されていた中圧本支管(80mm)をアスファルトカッターで損傷したことを確認した。損傷箇所直近の中圧路線上のバルブ3ヶ所を閉止し、132戸が供給停止となった。 当該消雪パイプ打替工事は路面を深さ30cm程度掘削して行われる工事であり、マッピング情報で中圧管の埋設深さが0.75mであったことから、工事に支障はないと思い込んで試掘せずに工事を実施した結果、当該箇所では浅く埋設(0.24m)されていたことから、アスファルトカッターで損傷した。
4/14	大阪	基礎工事	都市ガス	0	建設工事業者から「敷地内杭打ち工事中オーガーにてガス管破損、臭気及び噴出音あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(25mm)及び供給管(25mm)の破損を確認した。 原因は、新築工事の基礎工事前の試掘時にオーガーにて、灯外内管管体部及び供給管継手部を破損したものの。
4/19	広島	掘削工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者の重機掘削により供給管(20mm)が損傷し、供給支障となったものの。
4/20	東京	駐車場等工事	都市ガス	2	他工事業者から「駐車場建設工事中ガス管損傷」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(30mm)が損傷し、ガスが漏えいしていた。 ガス漏えい対応を行った際、他工事業者の作業員が実施したコンクリート研り作業中、漏えいしたガスに着火し他工事業者の作業員2名が負傷した。 他工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
5/11	北海道	外構・門扉工事	都市ガス	0	消防から「外溝工事中、ガス管を損傷」との通報を受け、出勤したところ、埋設されていた灯外内管(25mm)の損傷を確認した。 他工事業者が外溝工事を行うため、敷地内を重機(バックホウ)にて掘削した際、ガス管の存在に気付かず埋設されていた灯外内管を損傷し、ガスが漏えいしたものの。 建設工事業者及び当該需要家からガス事業者へのガス管照会は無し。
5/11	埼玉県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者が敷地内の埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、当該住宅は2017年8月に都市ガスへ切り替わったがLPガスの埋設供給管が残存しており、解体工事業者が埋設供給管の存在を知らずに、作業を行ったことで、当該供給管を損傷させたことによるもの。
5/15	群馬	基礎工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者による本支管損傷によるガス漏えい発生に伴い、特定製造所内のメインバルブを閉止して、ガスの供給を遮断した。 他工事業者に事前照会を行ったが、当該業者の確認作業が不足し、本支管に損傷を及ぼした。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
5/15	長野県	駐車場等 工事	LPガス	0	一般住宅において、他工業者が駐車場を増設するために敷地内を掘削していたところ埋設供給管(ポリエチレン管)を切断し、ガスが漏えいした。 原因は、他工業者が埋設管の位置を確認せずに工事を行い、埋設供給管を重機で切断したことによるもの。
5/16	佐賀県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工業者が作業中に重機で供給管を損傷し、ガスが漏えいした。解体工業者から連絡を受けた販売事業者が現場へ出勤し、バルブの閉栓と、供給管の閉止処理を行った。 原因は、解体工業者が供給管の存在を認識しておらず、販売事業者への確認なしに作業を行ったため、重機で埋設供給管からの立ち上がり部を損傷してしまったものと推定される。 なお、当該一般住宅は長期間空き家となっていたため、ガスメーターを撤去し、供給管はプラグ止めを行っていたとのこと。
5/17	東京	排水工事	都市ガス	0	他工業者から「敷地内排水工事中ガス管を損傷した」との通報を受け、出勤したところ、強いガス臭気を確認した。二次災害防止のため、引込み管遮断装置を閉止し、1棟46戸の供給支障が発生した。 原因は、床コンクリート研り工事中、建設機械にて灯外内管(100mm)を破損したものの。 他工業者からガス事業者への事前照会は無し。
5/17	岐阜	建柱工事	LPガス (簡易)	0	他工業者から「建柱工事でアースオーガにて掘削中、ガス臭有」との通報を受け、出勤したところ、供給管(25mm)の破損と判明した。掘削構内で即座に対処できず、保安確保のため特定製造所のバルブを閉止、133戸を供給停止した。 原因は、他工業者が工事範囲にはガス管がないと推測し、アースオーガにて掘削したことによるもので、ガス事業者への事前照会は無し。
5/18	大阪	建物改修・改装 工事	都市ガス	0	建設工業者から「改装工事中、ガス管破損」との通報を受け、出勤したところ、灯内内管(80mm)の破損を確認した。 原因は、建物改装工事による廊下コンクリート研り作業時、電動チッパーにて灯内内管直管部を破損したものの。 建設工業者からガス事業者への事前協議は無し。
5/21	大阪	整地工事	都市ガス	0	他工業者(整地工業者)から「敷地内土留めH鋼打設工事にガス管を破損、ガス噴出中」との通報を受け、出勤したところ、地中に埋設されていた灯外内管(25mm)からのガス漏えいを確認した。 原因は、敷地内土留め工事に伴うH鋼打設時に、バックホウ(掘削機)にて灯外内管継手部を破損したものの。 整地工業者からガス事業者への事前協議は無し。
5/22	奈良	基礎工事	都市ガス	0	建設工業者から協力企業を通じて「敷地内の新築基礎工事にガス管を破損し、仮手当できず」との通報を受け、出勤したところ、供給管・灯外内管(30mm)からのガス漏えいを確認した。 新築工事の基礎工事中、バックホウにて供給管・灯外内管の管体を破損したものの。 建設工業者からガス事業者への事前協議は無し。
5/24	大阪	解体工事	都市ガス	0	解体工業者から「解体工事中、急にガス臭気がしてきた。若干噴出音あり」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(50mm)からのガス漏えいを確認した。 解体工事中、重車両の通行により灯外内管継手部から漏えいしたものと推定される。 解体工業者からガス事業者への事前協議は無し。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
5/26	神奈川県	解体工事	都市ガス	0	協力企業から「解体工事業者が、コンクリート切断時にガス管損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(25mm)からガスが漏れいていた。 原因は、コンクリートカッターにて灯外内管を損傷したものの。
5/27	福島県	住宅工事	LPガス	0	一般住宅及び共同住宅が混在する敷地内において、住宅工事業者が基礎工事を実施した際に、重機で埋設配管および水道管を損傷し、ガスが漏れいた。 原因は、工事の元請け業者は販売事業者への連絡の必要性を認識していたものの、工事の下請け業者が予定を前倒して工事を行ったため、販売事業者へ連絡せず、埋設配管の位置を把握しない状態で工事を行い、重機により埋設配管を損傷させたことによるもの。
5/29	大阪	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「水道工事中における歩道上カッター切り時に、臭気噴出音あり」との通報を受け、出勤したところ、供給管(80mm)の破損を確認した。 水道工事における舗装カッター切りにて、供給管の継手部を破損したものの。
5/30	北海道	基礎工事	都市ガス	0	需要家から「屋外でガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、需要家宅に隣接する工事現場でガス臭気を確認した。 原因は、他工事業者が杭打ち工事を行うため敷地内をオーガーにて杭打ちした際、ガス管の存在に気づかず埋設されていた灯外内管(30mm:ポリエチレン管)を損傷し、ガスが漏れいたもの。 他工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
6/4	東京	建物建築工事	都市ガス	0	消防から「ガス臭気あり」との通報を受け、出勤したところ、埋設されていた灯外内管(40mm)からのガス漏れを確認した。 原因は、他工事業者がオーガーにて敷地内に埋設されている灯外内管を損傷したものの。 なお、他工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
6/4	北海道	水道工事	都市ガス	0	水道工事業者から「掘削中にガス管を破損した」との通報を受け、出勤したところ、支管(50mm:ポリエチレン管)からのガス漏れを確認した。 原因は、当日の工程には無い歩道の掘削が必要となったが、ガス事業者に対して工事内容の変更連絡を行わず、また、ガス管近傍の掘削を重機で行ったことにより破損に至ったもの。
6/4	兵庫県	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が作業中に埋設管を損傷したが、損傷したことに気付かず埋め戻し、後日、同じ水道工事業者が別の箇所を掘削し埋設水道管を切断、水道管のバルブを取り外そうとトーチバーナーを使用した際に爆発が生じた。 なお、当該住宅のオーナーには工事の際は販売事業者へ事前連絡の上、事前協議と工事の立会が必要である旨の周知を行っていたが、オーナー及び水道工事業者からの事前連絡はなかったとのこと。
6/14	大阪	建設工事	都市ガス	1	建設工事業者から「工事中にガス管を破損し一瞬火が付いたが今は消えている」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(40mm)の破損を確認した。 原因は、バックホウ(掘削機)にて不明灯外内管を破損し漏洩したガスに、矧り工事中に発生した火花が着火源となり引火したことによるもの。 建設工事業者よりガス事業者への事前照会は無し。 なお、矧り作業中の作業員一名が軽度の火傷を負った。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
6/16	北海道	排水工事	都市ガス	0	排水工事業者から「敷地内排水工事中ガス臭がする」との通報を受け、出勤したところ、掘削溝内のコンクリート構造物のひび割れ箇所から灯外内管(50mm:白ガス管)のガス漏えいを確認した。 原因は、排水工事業者が排水工事に係る掘削工事を行った際、掘削ルート上にあったコンクリート構造物に巻き込まれたガス管を損傷させ、ガスが漏えいしたものと推定される。 排水工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
6/18	神奈川県	駐車場等工事	都市ガス	0	他工事業者から「マンション敷地内舗装工事中、2か所でガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、広範囲に臭気を確認した。二次災害防止のため、引込み管ガス遮断装置を閉止し、1棟76戸の供給支障が発生した。 原因は、他工事業者が電動削岩機で舗装を壊した際、灯外内管(100mm)を損傷したものの。 他工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
6/19	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「敷地内地下構造物解体工事中ガス臭い」との通報を受け、出勤したところ、本管(150mm)を損傷したことを確認した。 原因は、オーガーで敷地内掘削中、道路に埋設されていた本管を損傷したものの。 解体工事業者からガス事業者への事前協議は無し。
6/23	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中ガス管損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(32mm)の損傷を確認した。 原因は、解体工事中掘削機にて灯外内管を損傷したものの。 解体工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
6/25	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事業者から「解体工事中ガス管損傷した」との通報を受け、出勤したところ、灯外内管(32mm)の損傷を確認した。 原因は、解体工事中掘削機にて灯外内管(不使用)を損傷したものの。 解体工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
6/26	千葉県	足場工事	LPガス	0	当該共同住宅の隣に建設中の新築住宅の工事現場において、足場工事業者から埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした旨の連絡を受けた販売事業者は、足場工事業者に火気厳禁、メーターガス栓の閉止、消費者への周知、容器バルブの閉止を依頼し、現場へ出勤したところ当該漏えい箇所を確認した。 原因は、足場工事業者が設置する足場を固定するための杭を地中に打ち込んだ際、埋設ポリエチレン管を損傷したことによるもの。
6/28	大阪府	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者(道路工事業者)がバックホーで、支管継手部を破損し、ガスが漏えいした。
6/30	東京都	解体工事	LPガス	0	空き家となっている一般住宅において、解体工事業者が作業中に重機で埋設配管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、販売事業者は解体工事業者に対して事前に埋設配管の存在及び閉止位置を伝えていたものの、作業員まで情報が伝わっておらず、埋設配管の存在を認識せずに作業を行ったため、重機で埋設配管を損傷してしまったものと推定される。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
7/4	徳島県	設備工事	LPガス	0	飲食店において、他工事業者(設備工事業者)がエアコン取付作業中に壁貫通工事を行った際、天井裏のガス配管(SGP25A)のエルボを誤って傷つけてしまったとの連絡を受けた販売事業者が現地に駆けつけたところ、損傷部からガスが漏れ出しを確認した。 原因は、他工事業者(設備工事業者)が事前に確認をせずに壁貫通工事を行ったことによるもの。
7/12	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者よりガス管へ着火したとの通報があり出動したところ、灯外内管腐食漏れ箇所より漏出したガスに酸素溶接作業の火花が着火していた。 原因は自然劣化及び他工事によるもの。
7/12	東京	解体工事	都市ガス	0	解体工事中に灯外内管を損傷し、ガスが漏れ出した。
7/17	東京	外構・門扉工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。 工事業者によると原因は他工事(外構工事)によると思われる。
7/17	沖縄県	水道工事	LPガス	0	共同住宅の地下共同溝内において、水道工事業者が給水管を切断しようとした際、誤って配管を切断し、ガスが漏れ出した。 原因は、工事責任者が作業員に対し、切断する管を明確に指示しないまま現場を離れたことで、作業員がLPガス配管を水道管と誤認し、切断したことによるもの。
7/18	福岡県	外構工事	LPガス	0	一般住宅において、外構工事業者より、庭の改修工事作業中に重機にて埋設供給管を損傷した旨の連絡を受けた販売事業者が現場に出動し、漏れを確認した。 原因は、外構工事業者が販売事業者と事前協議した日程を前倒しし、また事前協議では予定していなかった重機を用いた作業を行い、埋設供給管を重機により損傷したことによるもの。
7/19	山形県	リフォーム工事	LPガス	0	一般住宅において、LPガスが漏れ出したため、メーターが合計増加流量遮断を行うとともに、現場にいたリフォーム工事業者が容器バルブを閉めた。 原因は、他工事業者(リフォーム工事業者)が床下の配管用フレキ管を電動ノコギリで切断したことによるもの。 なお、他工事業者(リフォーム工事業者)から事前にガス配管撤去工事を依頼する旨の連絡があり、具体的にはリフォーム工事の日程等が決定してから改めて連絡があるとのことであったが、その後連絡はなかった。また、事故のあった建物は店舗兼自宅であり、そのうち自宅にのみLPガスが供給されており、今回のリフォームは店舗部分によるものであった。
7/21	大阪府	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者から誤って供給管に接触し損傷させ、ガスが漏れ出ししている旨の連絡を受けた消防が現場へ出動し、ガスの漏れを確認した。 原因は、解体工事業者が作業中に重機をガスメーター入口側への立ち上がり供給管に接触させ、折損したことによるもの。 なお、販売事業者は不動産管理会社から解体工事が実施される旨の事前連絡を受けていたものの、その日程を聞いていなかったため、当日は販売事業者の立ち会いなく、工事が実施されたとのこと。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
7/21	岐阜県	給排水工事	LPガス	0	事務所において、給排水工事業者から埋設配管を損傷し、ガスが漏えいしたため、容器バルブを閉栓したとの連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、配管の損傷を確認した。 原因は、給排水工事業者がコンクリート及びアスファルトの研り作業中に研り機で埋設配管(ポリエチレン管)を損傷したことによるもの。 なお、販売事業者が現場へ到着した際には、漏えいは止まっており、安全装置の作動もなかったとのこと。
7/27	群馬県	害虫駆除	LPガス	0	共同住宅において、害虫駆除業者から、薬剤を注入するための穴を建物周囲に開けていたところ、誤って埋設管を破損させた旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、埋設供給管からの漏えいを確認した。 原因は、住宅管理会社や害虫駆除業者から販売事業者から事前連絡がなかったことにより、埋設供給管を認識していない状態で作業を行ったことによるもの。
7/31	兵庫	解体工事	都市ガス	0	消防から「建物火災。アーケード撤去工事中に出火。」との通報を受け、出動したところ、家屋の一部焼損及び灯外内管(32mm:塩化ビニルライニング鋼管)継手部に穴あき箇所を確認した。 原因は、消防によると、解体工事業者にてアーケード支柱撤去のため、溶断作業中、溶断の火花が灯外内管にあたり、穴あき・着火したものの。 解体工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
7/31	千葉	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がアーケードの支柱撤去の溶断作業中、作業の火花で灯外内管継手部を破損し、漏えいしたガスに着火、家屋に引火・一部焼損したものの。
8/1	東京都	道路工事	LPガス	0	一般住宅において、集団供給先の一軒が都市ガスへ切り替えるために、作業を行っていた都市ガス工事業者が、道路の掘削作業時に埋設供給管(ポリエチレン管)を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、都市ガス工事業者が埋設管の存在を知らずに作業を行い、重機で埋設供給管を損傷したことによるもの。 なお、販売事業者に対する事前の連絡は行われなかったとのこと。
8/8	京都	整地・造成工事	都市ガス	0	建設工事業者から「敷地内掘削工事中にガス管を破損。臭気及び噴出音あり」との通報を受け、出動したところ、供給管(25mm:ポリエチレンライニング鋼管:不使用管)が破損されていることを確認した。 原因は、建設工事業者が土留め工事中、バックホーにて、供給管の継手部を破損したものの。 建設工事業者からガス事業者への事前照会は無し。
8/10	東京	水道改修工事	都市ガス	0	給水管工事中にガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。 原因は他工事によるもの。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
8/17	愛媛県	解体・整地工事	LPガス	0	<p>一般住宅の跡地において、近隣住民からガス臭がする旨の連絡を受けた都市ガス供給業者が現場へ出勤し、埋設供給管の継手部が損傷しガスが漏れいしていることを確認したため、漏れい箇所の応急処置を行い、LPガス販売事業者に連絡した。連絡を受けた販売事業者が現場にて漏れい箇所を確認し修理を行った。</p> <p>原因は、過去の火災で焼失した物件の解体及び整地工事を行っていた他工事業者が作業中に埋設供給管(ポリエチレン被覆鋼管)を損傷したことによるもの。</p> <p>なお、当該他工事業者は供給管の損傷に気付いていなかったとのこと。</p> <p>また、当該一般住宅はLPガスの集団供給から都市ガスへの切り替えを行っていたが、集団供給の供給設備である埋設供給管が敷地内に残存していたことから漏れいに至ったとのこと。</p>
8/22	大阪	水道工事	都市ガス	3	<p>協力企業から「道路面水道工事中、電動ブレーカーにてガス管を破損。火が付いたが消火済み。臭気あり。」との通報を受け、出勤したところ、供給管(30mm:ポリエチレン管)の破損を確認した。</p> <p>原因は、協力企業と水道工事業者が協議中、水道工事業者がバックホーで供給管を破損。漏れいしたガスに電動ブレーカーのモーター部の火花が着火源となり着火したものと推定される。</p> <p>着火により、水道工事業者2名と協力企業1名が火傷負傷し、それぞれ、自ら病院へ通院した。</p>
8/23	千葉	水道工事	都市ガス	0	<p>水道工事会社より非常に臭いとの通報を受け、現場に到着したところ、強い臭気を確認したため、消防に出勤要請し、プラグ止めを行った。</p> <p>原因は、工事場所付近供給管があることを知っていたにもかかわらず、手掘りをせずに掘削したことによるもの。</p>
8/29	東京	下水工事	都市ガス	0	<p>工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出勤したところ、本支管が損傷していた。</p> <p>原因は、下水道工事の施工者が工事箇所付近にガス管が近接していないと判断し、工事を行ったため、埋設管を損傷したものの。</p> <p>なお、事前の工事照会はなかった。</p>
8/31	東京	建設工事	都市ガス	0	<p>工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出勤したところ、本支管が損傷していた。</p> <p>原因は、建設工事業者が新築工事の施工にあたり、事前に照会を行わないまま露出管を何らかの残置管と思い、アセチレントーチを用いて切断作業を行ったため、漏れいしたガスに引火、火災となったもの。</p>
9/6	奈良	解体工事	LPガス(簡易)	0	<p>ガス事業者から「解体工事業者から家屋解体中、ガス臭気あり」との連絡を受け、出勤したところ、灯外内管及び供給管取出し部(塩化ビニールライニング鋼管)を損傷させ、ガスが漏れいしていることを確認した。</p> <p>原因は、解体工事業者が敷地内の家屋解体工事中に、ガス管の存在を把握していなかったため、掘削機にて灯外内管及び供給管取出し部を破損したものの。</p>
9/6	東京	建物建築工事	都市ガス	0	<p>旧簡易ガス団地において、他工事業者(建設業者)が、家屋解体工事中に掘削機で灯外内管を損傷させた影響で、本支管と供給管の接続部からガスが漏れいし、特定製造所にて供給停止し、供給支障が発生した。</p>



発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
9/6	埼玉	外構工事	都市ガス	0	需要家及び消防からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(外構工事)によると考えられる。
9/7	千葉県	掘削工事	LPガス	0	空き地において、近隣住民からガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、掘削業者が重機にて掘削作業を行っており、埋設供給管(ポリエチレン管)が損傷しガスが漏れいしていることを確認した。 原因は、掘削業者が作業中に重機を埋設供給管(ポリエチレン管)に接触させ、損傷させたことによるもの。 なお、販売事業者はガス管が埋設されている旨の表示をしていたが、掘削業者からの事前連絡はなかったとのこと。
9/10	東京	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷し被覆が焼損していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
9/13	岡山県	建設工事	LPガス	0	共同住宅において、建設工事業者から土砂の撤去工事中にガスが漏れいした旨の連絡を受けた消防が現場へ出動したところ、埋設供給管(鋼管)からの漏れいを確認した。 原因は、建設工事業者が作業中に埋設供給管に誤って重機を接触させ損傷させたことによるもの。
9/17	鳥取	解体工事	都市ガス	0	消防から「通行人からガス臭いとの通報」を受け、出動したところ、灯外内管(25mm:ポリエチレン管)の破損を確認した。 原因は、解体工事業者が埋設物を未確認のまま、境界ブロックを解体中に、誤って灯外内管を破損したが、ガス管破損に気が付かず放置したものの。
9/18	大阪	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで、支管継手部を破損し、ガスが漏れいした。
9/22	大阪	基礎工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)がアースオーガーで、灯外内管継手部を破損し、ガスが漏れいした。
9/26	北海道	駐車場等工事	LPガス(簡易)	0	駐車場整備のため、重機による工事で誤って埋設管を破損し、ガスが漏れいした。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
9/28	神奈川県	解体工事	都市ガス	0	消防から「解体工事中ガス管を損傷した」との通報があり出動したところ、灯外内管から漏えいしていた。原因は他工事(解体工事)によると思われる。
9/29	大阪	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	他工事業者(道路工事業者)がカッターで、供給管を破損し、ガスが漏えいした。
10/1	大阪府	解体工事	LPガス	0	空き家において、販売事業者が解体工事の立会を行い、ガスメーター立ち上がり部及び埋設配管の一部を撤去し、埋設配管を露出させ、プラグ止めを行った上で、次回の工程で配管に干渉する工事を行う場合には再度連絡をするよう解体工事業者に依頼した。しかし、後日行われた作業では、解体工事業者から販売事業者への事前連絡なく作業が行われ、解体工事業者が作業中に重機で埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。なお、配管の撤去時と事故発生時は解体工事業者の担当者が異なっており、異なる担当者からも事前連絡を行うよう配管の撤去時の担当者に対し依頼していたが、販売事業者への連絡に関する担当者間の引継ぎが十分に行われていなかったとのこと。
10/4	兵庫	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホーで、灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいした。
10/11	東京	下水工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水道工事)によると思われる。
10/12	三重県	整地工事	都市ガス	0	他工事業者が整地工事をしていたところ、灯外内管を損傷しガスが噴出した。
10/15	奈良県	解体工事	都市ガス	0	協力会社(遠隔監視センター)より、「遮断信号受信」との通報を受けて調査した結果、マイコンメーターで圧力低下を確認。供給管継手部(アスファルトジュート巻き鋼管)の破損箇所への差し水が認められ、周辺の需要家において供給支障が発生した。原因は、家屋解体工事に伴い側溝をカットした際、埋設管を損傷したものの。
10/18	滋賀県	害虫駆除	LPガス	0	共同住宅において、管理会社からガスが使用できない旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ容器が全て空になっていることを確認した。原因は、害虫駆除業者が当該建物の駆除作業を行う際に、薬剤を注入するための穴をドリルで開けた際に、埋設供給管を損傷させたことによるもの。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
10/19	奈良県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工事業者が作業中に埋設管を損傷し、ガス臭がしている旨の連絡を県協会を通じて受けた販売事業者が現場へ出勤し、埋設供給管(鋼管)が損傷し、ガスが漏れいていることを確認した。 原因は、解体工事業者が作業中に重機を埋設供給管に接触させ、損傷したことによるもの。 なお、当該一般住宅はすでに集団供給からオール電化に切り替えを行っており、消費者が敷地内に残存する埋設管の存在を知らなかったとのこと。 また、販売事業者も消費者に対し、敷地内に埋設管が残存する旨を伝えていなかったとのこと。
10/21	宮城県	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出勤したところ、灯外内管が損傷していた。 原因は、本来昭和50年に新たに供給管を取り出し直した際に本管でプラグ止めしておくべき古い管であったが、何らかの理由でプラグ止めされないまま放置され、図面上からも放置されていたことによるもの。
10/26	埼玉県	解体工事	LPガス	0	他工事業者が空き家解体作業中に使用していた小型ショベルカーでLPガス集中配管(埋設)を破損し、LPガスが漏れいた。他工事業者から誤って通報を受けた都市ガス事業者が元栓を閉止し漏れいを止めた。その後連絡を受けたLPガスの事業者が供給を受けていた全ての家庭(10戸)にボンベを設置し供給を再開した。なお、破損された集中配管(埋設)の復旧は未定。
10/28	大阪府	増改築工事	都市ガス	0	他工事業者(増改築工事業者)が掘削ドリルで、灯外内管(塩化ビニールライニング鋼管)を破損し、ガスが漏れいた。
10/29	岐阜県	駐車場等工事	LPガス(簡易)	0	駐車場等工事業者がが玄関前に手すりを設置するためのコア抜き作業中、灯外内管(PE管)を損傷しガスが漏れいた。
10/29	大阪府	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)がボーリングマシンで、灯外内管を破損し、ガスが漏れいた。
10/31	宮城県	外構・門扉工事	LPガス(簡易)	0	他工事業者が新築工事中に外構工事を行っていた際、小型重機で灯外内管を損傷し、ガス漏れいが発生した。
11/1	愛知県	整地・造成工事	都市ガス	0	敷地内工事(新築のための掘削工事)中に他工事業者が灯外内管を損傷しガスが噴出し、消防が付近道路を交通規制した。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
11/2	鳥取県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工業者が重機による作業中に供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、解体工業者が外壁に固定されていた供給管ごと建物の解体を行ったことで、供給管が引っ張られ、上流の埋設供給管継手部に負荷がかかり折損したことによるもの。
11/5	京都府	道路舗装・改修工事	都市ガス	0	道路工業者がバックホーにて、供給管を破損し、ガスが漏えいした。 なお、事前に照会は無かった。
11/7	兵庫県	整地・造成工事	都市ガス	0	他工業者(整地工業者)がバックホーで、灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
11/7	東京都	整地・造成工事	都市ガス	0	工業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。 原因は、整地工業者がガス管の埋設物調査を行わず、未照会のまま掘削作業を行ったことによるもの。
11/8	兵庫県	増改築工事	都市ガス	0	他工業者(増改築工業者)がコアドリルで、灯内内管(亜鉛引き鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
11/8	埼玉県	解体工事	LPガス	0	解体工業者が重機を使って空き家の解体工事中にLPガス配管(埋設)を破損し、LPガスが漏えいした。解体事業者は都市ガス事業者に通報し、出動した都市ガス事業者の従業員が漏えいしている配管にテープ巻きして漏えいを止めた。都市ガス事業者から連絡を受けた事業者はプラグ止めを行い、同日15時40分、復旧作業を完了した。当事故現場はLPガス50kg容器×18本の集団供給方式であったが、事故による他の需要家への供給停止は無かった。原因は他工業者の作業ミスによるLPガス埋設管損傷。
11/14	大阪府	整地工事	都市ガス	0	他工業者(整地工業者)がバックホーで、灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
11/15	長野県	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、解体工業者がオール電化への切り替えに伴った住宅の建て替えのための掘削作業を行っていたところ埋設管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、解体工業者が重機を埋設供給管(ポリエチレン管)へ接触させ、損傷したことによるもの。 なお、当該住宅は、以前に集団供給による供給を行っていた建物であったが、事故当時は契約が解除されており、供給していなかったとのこと。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
11/17	京都府	整地・造成工事	都市ガス	0	他工事業者(整地工事業者)がバックホーで、灯外内管(塩化ビニールライニング鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
11/19	神奈川県	建設工事	都市ガス	0	需要家からガス臭いとの通報があり出動したところ、供給管から漏えいしていた。工事業者によると原因は他工事(建設工事)によると考えられる。
11/20	岐阜県	外構工事	LPガス	0	共同住宅において、外構工事業者からガスが漏えいしている旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、埋設配管(ポリエチレン管)が損傷しガスが漏えいしていることを確認した。原因は、外構工事業者が作業中に重機を埋設配管に接触させ、損傷させたことによるもの。なお、販売事業者と外構工事業者は事前に協議を行い、配管の位置を確認しており、かつ配管の周囲には注意喚起の表示があったものの、誤って埋設配管に接触させてしまったとのこと。
11/20	福島県	解体工事	LPガス	0	空き家となっている一般住宅において、解体工事業者からガス臭がする旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動したところ、集団供給で使用している埋設供給管(鋼管)が損傷し、ガスが漏えいしていることを確認した。原因は、解体工事業者が作業中に重機を埋設供給管(鋼管)に接触させ、損傷したことによるもの。
11/20	鳥取県	建設工事	LPガス	0	事務所において、建設工事業者から埋設管を損傷しガスが漏えいした旨の連絡を受けた販売事業者が現場へ出動し、埋設配管(白管)の中間ガス栓が損傷していることを確認した。原因は、建設工事業者が作業中に重機を埋設配管(白管)の中間ガス栓に接触させ、損傷したことによるもの。
11/24	東京都	基礎工事	都市ガス	0	ガス漏れにより着火したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。原因は基礎工事によると考えられる。
11/26	神奈川県	芝刈り	LPガス	0	芝刈り業者の作業員が芝刈り機で誤って供給側のガス管を切断し、ガスが使用できなくなった。緊急対応事業者が対応し、その後事業者が配管のつなぎ替えをして午後には供給を再開した。原因は芝刈り作業ミスによる配管切断。
11/29	神奈川県	建物建築工事	都市ガス	0	消防から新築工事現場でガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(建築工事)によると考えられる。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
11/29	長野県	改装工事	LPガス	0	事業者はガス漏えいに気づいた需要家からの通報を受け、その場で元栓を閉めるよう指示して現場に出動した。損傷部分はメーターと消費設備の間の部分で、即修理を行い復旧した。原因はレストラン改装工事中に工事業者が誤って釘をガス管に打ち込み、ガスが漏えいしたものの。
11/30	京都府	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)がカッターで、灯外内管(塩化ビニールライニング鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
11/30	東京都	建設工事	都市ガス	0	工事業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、不使用灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(建設工事)によると考えられる。
12/1	東京都	下水工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、本支管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(下水道工事)によると考えられる。
12/3	大阪府	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)が解体作業物を倒壊したことで、灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいした。
12/3	東京都	解体工事	都市ガス	0	工事業者からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
12/4	大阪府	建物建築工事	都市ガス	0	他工事業者(新築工事業者)がオーガーで、灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。
12/6	大阪府	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がバックホウで、灯外内管継手部を破損し、ガスが漏えいした。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
12/6	山口県	水道工事	LPガス	0	水道工業者が宅内で漏水修理工事中にガスフレキ配管を損傷し、ガスが漏えいしたのでバルブ閉栓し、ガスを止めてから事業者に通報。事業者は現場で復旧作業を行いガス供給を再開した。原因は水道工業者の作業ミスと推定される。
12/8	兵庫県	下水工事	都市ガス	0	他工業者(下水工業者)がコアドリルで、支管を破損し、ガスが漏えいした。
12/10	栃木県	建設工事	LPガス	0	建設会社がバックホウで掘削作業中に埋設ガス配管(PE管)を損傷し、ガスが漏えいした。事業者は損傷箇所を切断プラグ止めにて復旧済。原因は建設会社の埋設配管の事前確認不足と思われる。
12/11	東京都	建物改修・改装工事	都市ガス	0	工業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していたため、引込み管ガス遮断装置を閉止し供給支障が発生した。工業者によると原因は他工事(改装工事)によると思われる。
12/11	東京都	土質調査・地盤改良工事	都市ガス	0	工業者からガス管を損傷したとの通報があり出動したところ、本支管から漏えいしていた。工業者によると原因は他工事(地盤調査)によると思われる。
12/14	兵庫県	水道工事	LPガス(簡易)	0	旧簡易ガス団地において、水道工業者が水道管入替工事中に供給管を重機で引っかけたことにより本管接続部から脱落しガス漏れが発生したため、特定製造所において全戸(88戸)の供給停止をした。
12/15	群馬県	解体工事	LPガス	0	家屋解体事業者からの通報で出動し、現場では消防により容器のバルブが閉められガス漏れは停止していることを確認した。原因は他工業者が家屋解体工事中に重機をぶつけてガス配管を損傷し、ガス漏れしたものと推定される。
12/24	福岡県	水道工事	LPガス	0	他工業者が水道管工事の際、誤って埋設LPガス配管をディスクグラインダで切断しガス漏えいした。S型メータが遮断したため、ガス漏えいは少量。事業者は当該配管をプラグ止めして復旧済み。原因は他工業者の作業ミスと推定される。

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
12/25	東京都	解体工事	都市ガス	0	東京消防庁からガス臭いとの通報があり出動したところ、灯外内管が損傷していた。工事業者によると原因は他工事(解体工事)によると考えられる。
12/26	大阪府	解体工事	都市ガス	0	他工事業者(解体工事業者)がカッターで、灯外内管(アスファルトジュート巻き鋼管)を破損し、ガスが漏えいした。
10/25	東京都	解体工事	都市ガス	0	建物所有者から、解体工事中の地下にてガス臭気をするとの通報を受けたガス事業者が調査したところ、地下1階のがれき撤去作業中にガス管が損傷したことを確認した。原因は、埋設管を縁切りされてる水道管と間違え、切断したことによるもの。
11/26	広島県	解体工事	都市ガス	0	解体工事に灯外内管を破損した。
12/13	岡山県	解体工事	都市ガス	0	解体工事よりガス管を破損したとの連絡があり、調査したところ、ガス管の破損を発見した。原因は、家屋解体中に破損したことによるもの。
12/20	沖縄県	その他工事	LPガス(簡易)	0	他工事の不発弾磁気探査のため、ボーリング調査中、ガス管を貫通し破損。
12/21	大阪府	整地・造成工事	都市ガス	0	整地工事に当たり、掘削機(バックホー)にて灯外内管を破損した。
12/26	長野県	解体工事	都市ガス	0	家屋解体工事中にメーター立て管を折損し、ガスが噴出した。



敷地内の工事に携わるみなさまへ

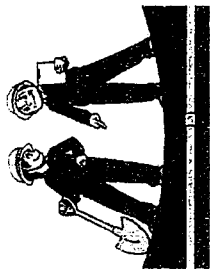
# ガス管損傷事故を防ぐための 3つのポイント

工事の前にガス管の位置をしっかりと確認。  
作業員全員で情報共有し、ガス管損傷事故を防ぎましょう。

## Point 1

### 工事前にまず確認!

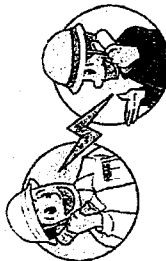
工事前にガス管位置やガスが通じていないことを確認。ガス管付近は特に慎重に手掘り等で作業する。



## Point 2

### 不明な場合は ガス事業者へ連絡!

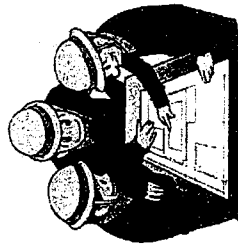
ガス管の位置や深さが不明な場合やガス管の撤去・移設工事が必要な場合。その他、必要に応じてガス事業者にご相談ください。



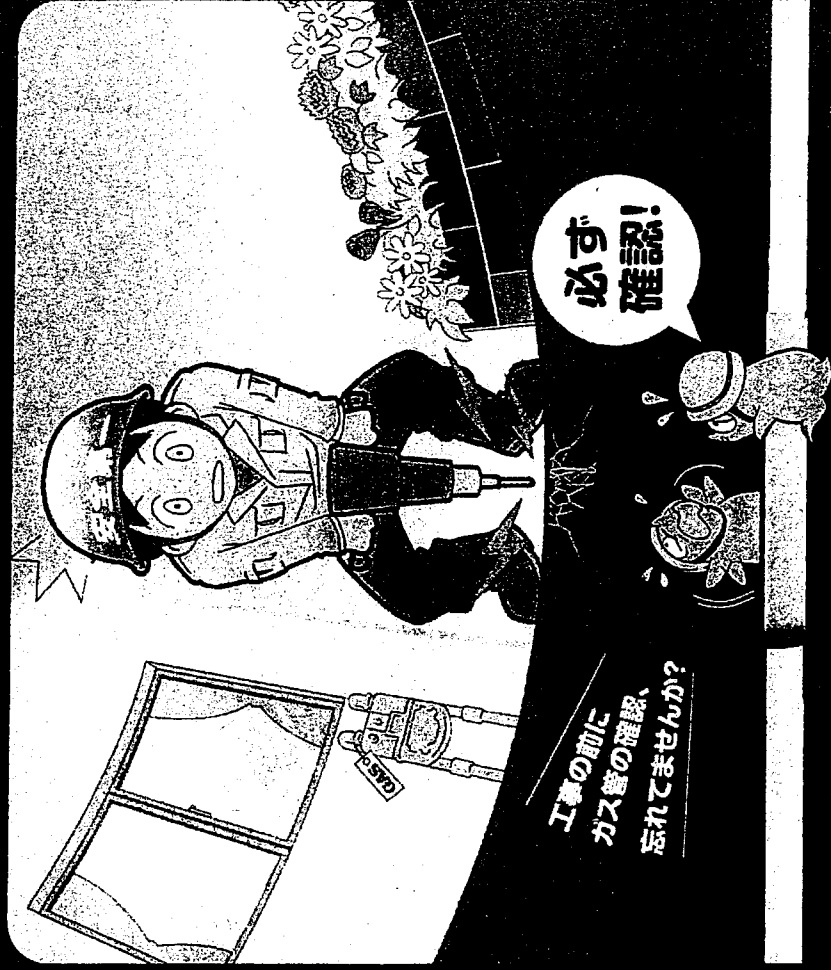
## Point 3

### 情報は全員で共有!

ガス管の位置などの情報は、図面などで作業員全員で情報を共有する。



# 敷地内で工事を行う際は、 ガス管の確認を!



ガスの事故がなくなるよう皆様のご理解とご協力をお願いします。



ガスの安全

<http://www.meti.go.jp/>

検索 🔍

経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

お問い合わせは





ガスの  
あんしん  
合い言葉

# ちよつと待て! そのすぐ下には ガス管が!?

**建物の改築・解体・給排水  
工事などをはじめる前に  
ガス管の位置確認を!**

## 《工事の前に》

ガス管の位置やガスが通じていないことを  
必ず確認してください。

## 《ガス管近傍で工事を行う場合》

あくまでも慎重に作業を進めてください。

## 《不明な点は》

ガス事業者にご相談ください。

## 《ガス臭いと感じた時》

火気や電動工具の使用を避け、  
すぐにガス事業者に連絡してください。



敷地内他工事におけるガス管損傷事故を防ぐために、ご協力をお願いします。



ガス管損傷事故  
防止のため、

毎日!

# 工事の安全 チェック

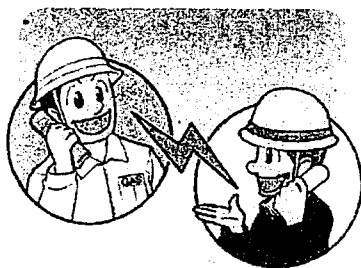
毎日、工事の前にしっかりチェック!  
作業員全員で情報共有して、ガス管破損事故を防ぎましょう。

## 〈チェック項目〉



### 工事前に必ず確認!

- ☑ 図面などで工事前にガス管の位置を確認。
- ☑ ガス管のガスが、どこまで通じているか確認。
- ☑ ガス管付近では手掘り作業をするなど、作業のポイントを確認。



### 不明な点はガス事業者へ確認!

- ☑ ガス管の位置や深さが不明な場合。
  - ☑ ガス管の撤去・移設工事が必要な場合。
  - ☑ ガス管にガスが通じているか不明な場合。
  - ☑ 協議になかった管が出てきた場合。
- ※その他、必要に応じてガス事業者にご相談ください。



### 工事はあくまでも慎重に!

- ☑ 工事は、ガス管の位置や深さを再度確認してから。
- ☑ ガス管の近くでは、重機を使用せず、手掘りにて慎重に作業を。



### 作業員全員で情報共有を!

- ☑ ガス管の位置情報や、ガス管近くでの手掘り等作業のポイントを必ず作業員全員で情報共有をお願いします。



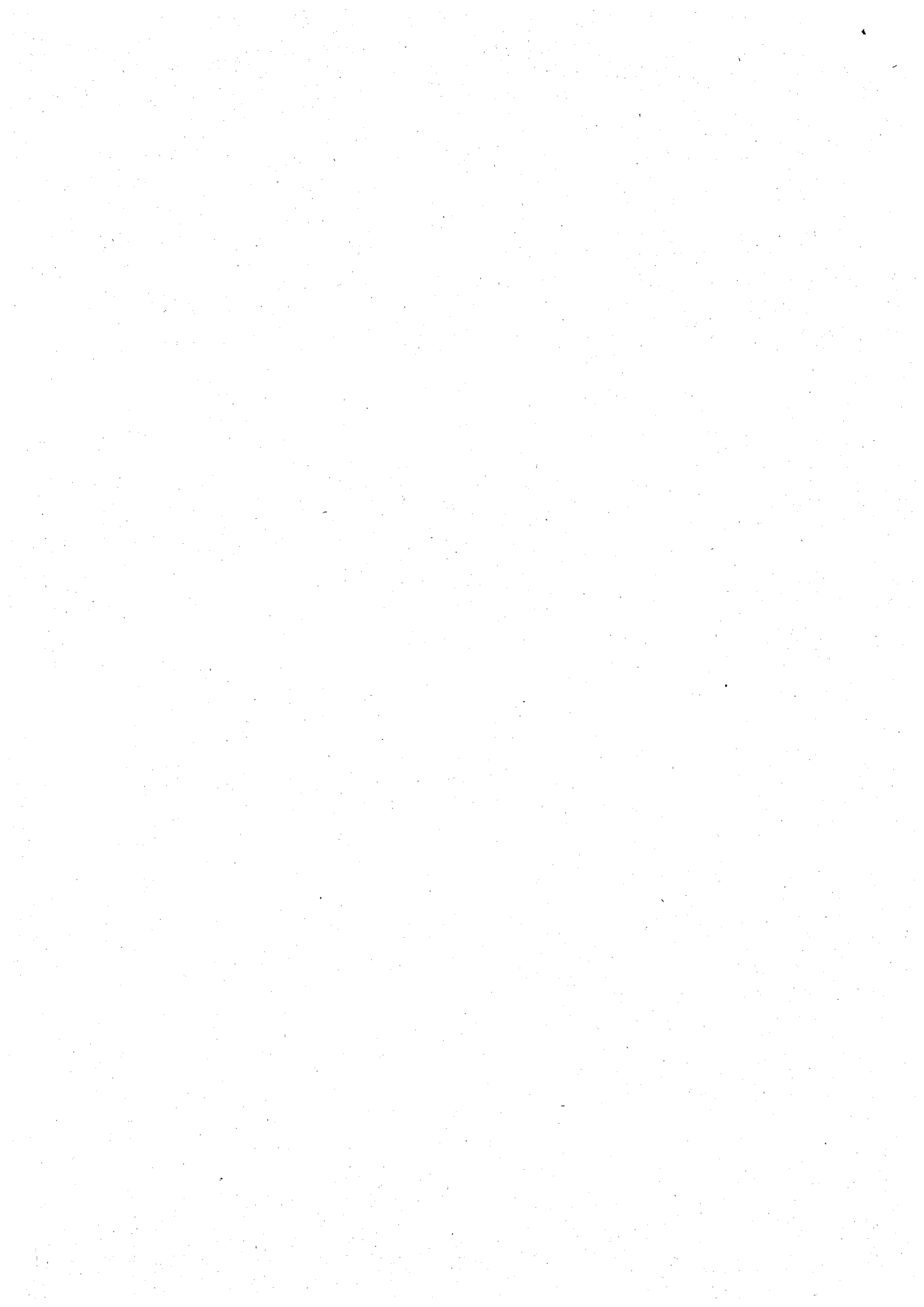
ガスの事故がなくなるよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

ガスの安全員直し隊

ガスの安全 検索  
<http://www.meti.go.jp/>



経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry



# 経済産業省

30産ガ安第9号

平成31年2月6日

一般社団法人全国LPガス協会  
会長 秋元 耕一郎 殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長 田村 厚雄

## 建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について(協力依頼)

標記の件について、今般、当省では、ガス事故における建設工事等に係る事故(他工事事故)の防止に向け、別添のとおり厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長並びに同省医薬・生活衛生局水道課長及び国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長並びに同省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課長に対し、協力要請を行いましたので、その旨お知らせいたします。

なお、再発事故防止の観点から、貴団体においても傘下の事業者等に対し、以下の事項の周知を行って頂きますようお願いいたします。

- ・建設工事等事業者に対し、工事を施工する前には必ずガス管等について液化石油ガス販売事業者等に照会・確認するとともに、ガス管を見つけた場合は、必ず液化石油ガス販売事業者等に連絡すること等について、周知を行うこと。
- ・必要に応じて建設工事等の際に立ち会うこと。
- ・供給管・配管の工事を行う際は、事故防止のため、外注先の特定液化石油ガス設備工事に係る届出、液化石油ガス設備士資格の有無及び再講習の受講状況を確認することにより適切に監督すること。

## 経済産業省

30産ガ安第9号  
平成31年2月6日

日本液化石油ガス協議会  
会長 川本 武彦 殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長 田村 厚雄

### 建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について(協力依頼)

標記の件について、今般、当省では、ガス事故における建設工事等に係る事故(他工事事故)の防止に向け、別添のとおり厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長並びに同省医薬・生活衛生局水道課長及び国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長並びに同省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課長に対し、協力要請を行いましたので、その旨お知らせいたします。

なお、再発事故防止の観点から、貴団体においても傘下の事業者等に対し、以下の事項の周知を行って頂きますようお願いいたします。

- ・建設工事等事業者に対し、工事を施工する前には必ずガス管等について液化石油ガス販売事業者等に照会・確認するとともに、ガス管を見つけた場合は、必ず液化石油ガス販売事業者等に連絡すること等について、周知を行うこと。
- ・必要に応じて建設工事等の際に立ち会うこと。
- ・供給管・配管の工事を行う際は、事故防止のため、外注先の特定液化石油ガス設備工事に係る届出、液化石油ガス設備士資格の有無及び再講習の受講状況を確認することにより適切に監督すること。

## 経済産業省

30産ガ安第9号  
平成31年2月6日

一般財団法人全国LPガス保安共済事業団  
理事長 後藤 庄樹 殿

経済産業省産業保安グループガス安全室長 田村 厚雄

### 建設工事等におけるガス管損傷事故の防止について(協力依頼)

標記の件について、今般、当省では、ガス事故における建設工事等に係る事故(他工事事故)の防止に向け、別添のとおり厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室長並びに同省医薬・生活衛生局水道課長及び国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課長並びに同省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課長に対し、協力要請を行いましたので、その旨お知らせいたします。

なお、再発事故防止の観点から、貴団体においても傘下の事業者等に対し、以下の事項の周知を行って頂きますようお願いいたします。

- ・建設工事等事業者に対し、工事を施工する前には必ずガス管等について液化石油ガス販売事業者等に照会・確認するとともに、ガス管を見つけた場合は、必ず液化石油ガス販売事業者等に連絡すること等について、周知を行うこと。
- ・必要に応じて建設工事等の際に立ち会うこと。
- ・供給管・配管の工事を行う際は、事故防止のため、外注先の特定液化石油ガス設備工事に係る届出、液化石油ガス設備士資格の有無及び再講習の受講状況を確認することにより適切に監督すること。

